

2012年度（平成24年度）

中国・中央美術学院 交換留学生 募集要項

美術学部・大学院美術研究科では、平成24年度5月に、中国中央美術学院（China, Central Academy of Fine Arts）との交換留学協定を締結し、同年度、後期より、交換留学生を派遣することとなりました。以下の内容で、交換留学生を募集します。

記

- 1 派遣先大学：中国 中央美術学院（Central Academy of Fine Arts, China）
- 2 派遣人数：1名 対象：大学院美術研究科（博士／修士課程）全専攻
- 3 留学期間：9月上旬（予定）～12月末まで
(事前に語学学校通学、オリエンテーション等、準備期間が必要な場合もある。)
- 4 必要経費 航空運賃、生活費、制作材料費、現地での研修費等
(80-100万円前後、但し渡航先の経済状況により変動する。)
- 5 費用補助 大学から派遣留学補助金交付（30万円交付予定）
- 6 選考日程 書類受付 5月24日（木）～6月8日（金）午後5時（厳守）
★午後5時を過ぎたものは一切受け付けません。
書類審査・面接 6月12日（火）
★ 面接の順番は、6月11日（月）に、教務学生支援室にて掲示。指定された時刻・会場で5分前に各自待機していること。
結果発表 6月14日（木）*予定
- 7 提出書類
 - (1) 応募願書【申請書式1-3】（日英で作成）
* 応募書式ワードファイルは京都市立芸術大学HPからダウンロード可。
(国際交流のページ：<http://www.kcua.ac.jp/international/arts/>)
教務学生支援室では紙面を配布。
*必ずワードで作成し、印刷して書面で教務学生支援室へ提出すること。手書き不可。
 - (2) 作品ポートフォリオ（A4又はB4サイズ）又は論文の写し（芸術学のみ）
 - (3) 推薦状（日本語）

*ただし、応募願書書式の、【その他・申請書類】については学内選考の応募の際には提出の必要はありません。

※その他不明な点は、下記へ問い合わせてください。

【応募・問合せ先】

応募受付：教務学生支援室 美術学部担当（安渡）

留学全般に関する問合せ：国際交流室（青嶋）E-mail: intl-r@kcua.ac.jp

【美術学部・大学院美術研究科 交換留学生制度概要】

美術学部及び大学院美術研究科では、ヨーロッパ（イギリス、フランス、フィンランド、イタリア）、カナダ、オーストラリアの7校の大学と交換留学の交流協定を結んでいます。留学時期は派遣先大学により異なりますが、おおむね秋学期（9月～翌年1月）の間です。（*シドニー大学のみ7月～11月）。**2012年度より、中国中央美術学院との交換留学をスタートしました。**

【交換留学応募条件等】

1. 海外生活に適応できる能力と留学に必要な語学力を有していること。
2. この制度を利用しての留学は、1人につき1回限り。留学期間の延長はできません。
3. 学部4回生と修士2回生については、交換留学までに卒業・修了に必要な単位が全て取得できていること（ただし、交換留学の期間を含む後期の実技単位を除く）。万が一、留学直前の前期終了までに卒業・修了に必要な単位が全て取得できなかつた場合は、交換留学の資格を取り消す、もしくは出発後に留年となる可能性がある。

【応募に必要な書類】

- ・応募願書（申請書／CV／志望動機・研究計画書）＊すべて日英両記
 - ・ポートフォリオ：作品等のヴィジュアル資料（A4又はB4程度のもの）又は論文の写し。
＊作品が映像資料等の場合はポートフォリオにDVDを添付。
 - ・推薦書
- ＊交換留学派遣が決定した学生は、国際交流室と相談しながら留学先へ提出する願書を作成すること。

【単位の扱い・履修登録について】

- ・派遣先大学での修了証明書を参考に、本学の実技単位として認定します。交換留学中の学科の単位は、本学では一切認定されません。
- ・交換留学の期間は、本学学科の授業は一切登録することができません。各自の専攻の実技科目のみ登録できます。

【学費および留学費用について】

- ・本学の授業料を通常通り納めることで派遣先大学への入学料及び授業料は免除になります。出発までに今年度の授業料をすべて納付すること。授業料を滞納した場合は、派遣生に決定した後でも交換留学資格を取り消します。
- ・留学費用（往復航空運賃・旅費・生活費・制作材料費・現地での研修費等）は自己負担になります。

※留学費用は、概ね80万円～120万円程度。

※京都市立芸術大学芸術教育振興協会から若干の補助がある。

【語学について】

- ・ 中国への交換留学生は、英語もしくは中国語でのコミュニケーションが可能であること。

【その他】

- ・ 留学準備：航空券の手配, 保険加入, ビザ取得など、出発のための準備は全て自分で行なうこと。（*6月中旬に派遣生向けに留学準備説明会を開催します。）
- ・ 海外旅行保険等の保険の加入が必須。
- ・ 宿舎は留学生で確保することが原則。派遣先大学によっては、学生寮への入居、宿舎の斡旋について情報提供などの協力を得られる。
- ・ 留学生は、留学中2～3回のレポートの提出、および帰国後、学内での報告会にて報告を行うことが義務付けられている。
- ・ 卒業制作・修了作品論文等審査について：学部4回生・修士2回生については、その年度の卒業制作・修了作品論文等審査を必ず受けること。
- ・ 健康診断について：4月初旬に本学が行う定期健康診断の全項目（日程は掲示板に貼付）を必ず受診している事。（派遣生に決定した際、派遣先大学へ送る場合があります。）

《派遣生に決定した場合》

- ・ 派遣先大学への申請書類の作成：派遣先大学への申請書類は、各自が作成を行うこと。国際交流室インターナショナル・コーディネーターがサポートします。派遣が決定した後、すぐに申請書類作成を行います。英文での申請書作成には時間がかかるので、各自スケジュールを必ず空けておくこと。
- ・ 留学先の受入が決定次第、ビザの申請、渡航の手配などを各自の責任において行ってもらいます。

【交換留学応募に際しての心構え】

短期といえども、留学は生易しいものではありません。全て自分で解決し、自らで切り開いていく自立心がないと、最後まで乗り切ることはできません。まずその自覚を持つこと。語学力については、相当努力する覚悟が必要です。応募書類は日・英で記入すること。派遣生に決定した場合は、改めて各大学への申請へ必要な書類を作成してもらいます。学内選考を経て派遣生に決定しても、派遣先大学・希望専攻へ交換留学が確定したわけではありません。本学より留学先の大学へ申請書類を送り、該当の選考での審査を経て派遣が決定します。

*** 本交換留学制度は、大学の代表者として交流のために派遣されるのであり、個人的な留学ではありません。**

中国 中央美術学院 大学概略

大学名・概要	Central Academy of Fine Arts, China (中国中央美術学院) 中国の美術大学の中では最も歴史が長く、美術教育機関としても最高峰とされる国立の大学。世界的に活躍する著名なアーティストを教師陣に迎えており、これまでに伝統的な芸術分野から現代アートにいたるまで、幅広い分野で世界的に活躍する作家を数多く輩出している。ファインアート、デザイン、建築、および人文学（芸術学）分野において多岐にわたる専攻があり、学術性、実験性、実践性と多学科の総合発展という現代美術教育モデルを推進している。		
国／都市	中国・北京	HP（英語）: http://www.cafa.edu.cn/aboutcafa/lan/?c=1101 (日本語) http://www.cafa.edu.cn/aboutcafa/lan/?c=1401	
創立年	1918年	協定開始年	2012年
学期	2セメスター制（2月～5月／9～12月）＊留学期間は9～12月（秋学期）		
派遣人員	1名	対象学年・専攻	修士・博士課程 全専攻
受入専攻	中国画学院：伝統絵画、書道、写生、史論 造型学院：油絵系、版画系、彫塑系、壁画系、実験芸術系 人文学院：美術史論系、美術教育系、芸術管理系、文化遺産系 設計学院：視覚伝達、インダストリアルデザイン、デジタルメディア、撮影、 ファッショングループとジュエルデザイン 建築学院：建築学、景観設計、室内設計 都市設計学院：都市情報設計学部、都市形象設計学部、都市時尚設計学部、 都市映像設計学部		

【中央美術学院 学部・専攻詳細】

・中国画学院

中国画学院の前身は、1958年に成立した中国画系で、2005年に中国画学院に昇格しました。教育理念として、伝統絵画、書道、写生、史論を基礎とし、「臨模、写生、創作の三位結合」の教育方法を採用しています。学院は教研室（工房）と選択制を組み合わせた教育システムで、臨模、写生、書法、篆刻、創作、及びその他の補助授業を開設しています。人物画（工筆、写意）、山水画、花鳥画、書法などの専門コースがあり、そのほかに中国画材料と表現工作室、書法と絵画比較研究センターなどが設置されています。中国画学院の改革と発展は常に中国美術教育の先端モデルの役割を担っているといえます。作室、書道絵画比較研究センターなどがあります。

・造型学院

造形学院には基礎教学部、油絵系、版画系、彫塑系、壁画系、実験芸術系の6つの系があります。新入生はまず一年間、基礎教学部で学び、所定の単位取得後、それぞれ油絵、版画、彫塑、壁画の各専門コースで学ぶことになっています。基礎教学部では、学生の総合造型能力の育成に重点をおき、中国と西洋の造型芸術の創造概念、造型意識の相違などを造型基礎教育に取り入れています。学生が芸術表現に対する興味と理解を深め、

選択する専門コースに適応できる能力を身につけるために、全面的な能力の育成に取り組んでいます。

油画系は、中国で最も早い油画教育施設の一つで、1918年の設立から今日まで90年あまりの歴史があり、特色ある学術伝統を形成しています。油画系には、第一、第二、第三、第四工作室と研修工作室があり、指導教官工作室教育システム（工房制）を採用しています。

版画系は、1954年に設立された全国初の版画専門コースです。木版、銅版、石版とシリクスクリーン工作室があります。版画系の本科（学部）二年生の授業には、デッサン、色彩と版画基礎課目があり、三年生、四年生は指導教官の工作室でそれぞれ学びます。

彫塑系は、1950年代初めに設立されました。現在の彫塑系では、専門基礎教育、指導教官工作室教育と技法材料実践とを組み合わせた教育システムをとり、粘土デッサンと現代材料技法を合わせた指導方法をとっています。中央美術学院彫塑系は、中国最大の彫塑教育、研究、創作の施設です。

壁画系は1978年に成立した、中国美術大学初の壁画専門コースです。創立以来、歴史伝統の復興と現代世界各国壁画と公共環境芸術の長所の吸収に努めてきました。工作室制を採用し、国内の壁画専門領域でもっとも影響力のある教育機関となっています。

実験芸術系（計画）は2005年に成立した実験芸術工作室を前身としています。近現代芸術実践経験に注目し、本土言語の芸術創造を推進しています。基礎教育のほかに、国内外の著名な芸術家を招いて工作室を開設しています。さまざまなテーマ研究を通して、総合材料、装置、映像などの新しい芸術メディア形式に精通した芸術家の育成を目指しています。

・人文学院

人文学院は、1956年に中国で最初に設立された中央美術学院美術史系を前身として、2003年に設立されました。人文学院では、中国仏教美術史、中国文人画史、中国古代画論、中国近現代美術史、中国古代書画鑑定学、中国民間美術史、中国美術文献学、中外美術交流と比較、西洋現代美術史、中国古代書画修復、芸術管理と企画、文化遺産と考古美術などの分野ですぐれた研究、学術成果を収めています。また、近年、視覚文化、西洋女性主義美術史、新中国美術史、東方美術史の研究と教育でも注目すべき成果をあげています。人文学院には、美術史論系、美術教育系、芸術管理系、文化遺産系の四つの専門コース（系）があり、そのほかに、非物質文化遺産研究センター、情報資料センターが設置されています。人文学院は、アメリカ・カリフォルニア州立大学バークレー校、スタンフォード大学、プリンストン大学、ニューヨーク大学、ハーバード大学、ドイツ・ハイデルベルク大学、イギリス・ロンドン大学アジア・アフリカ学院、日本・東京大学、韓国・ソウル大学、オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学、フランス・国家文化遺産学院、ロシア・レーピン芸術大学などの世界中の著名な大学、学院とも学術交流を行っています。

・設計学院

設計学院は、1995年に成立した設計芸術系を前身として、2002年に設立されました。設計学院では、「芸術性、実験性、予見性、国際性」をモットーとして、鋭い洞察力、

豊かな想像力、果断な決断力を持った設計人材の育成を目指しています。現在、視覚伝達、インダストリアルデザイン、デジタルメディア、撮影、ファッションデザインとジュエルデザインの六つのコースが開設されています。設計学院の主要な基礎課程には、自然形態基礎、抽象形態基礎、構成基礎、材料実験基礎、通感訓練、思考訓練、総合訓練などがあります。さまざまな訓練課題によって、学生が芸術とデザインの関係を創造的に理解できるよう啓発、指導しています。また、設計学院では積極的に国際協力をを行い、教育と研究を合わせた全面的な発展を推進しています。

・建築学院

建築学院は2003年に成立した、中国初の著名な造型芸術学院と大型建築設計院によって設立された建築学院です。その教育理念は、芸術界と建築界が密接に連係し、教育と科学研究、工程実践の結合を実現し、建築科学と建築芸術、建築文化を合わせ持つというものです。そして、芸術家の素質を持ち合わせた建築士と設計士の育成に取り組んでいます。学生は三年時から、先生と一対一の師弟教育形式の指導を受けます。専門学習のスタートから、プロの建築設計士の薰陶を受けることができます。現在、建築学院には、建築学、景観設計、室内設計の三つの専門コースが設置されています。

・都市設計学院

都市設計学院は2002年に設立されました。設計教育の拡充と、学校経営の多角化を目指して設立した最初の学院外の専門学院です。現在、都市設計学院には、都市情報設計学部、都市形象設計学部、都市時尚設計学部、都市映像設計学部が設置されています。さらに、出版設計工作室、アニメーション制作センターなどの組織も設置されています。